

公立大学法人青森県立保健大学

平成27年度 業務実績報告書（参考資料）

「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート事業」の実績

平成28年 6月

公立大学法人青森県立保健大学

【健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言】と事業取組の趣旨・概要

わが国の少子高齢社会において、増大する医療費や介護費を抑えるためには、保健医療福祉のパラダイムシフトが求められており、保健医療福祉専門職がサービスを提供し国民は受け身的にサービスを得ていた時代から、国民一人ひとりが暮らしを軸に自らの健康に主体的に関わることが期待されており、健康増進への支援、そしてケアがさらに注目を浴びている。

青森県においては、少子高齢社会による社会的課題に加え、短い平均寿命などの健康課題が大きな問題となっており、優秀な専門職を育成することで質のよいサービスを提供することに加え、県民一人ひとりが周囲の人たちと助け合いながら健康になる取組として、「健やか力（ヘルスリテラシー）向上」を推進している。

そこで本学は県立大学として、県の施策に呼応しこれまで以上に連携・協調するため、平成27年4月に「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」を行い、本学の健康科学部及び健康科学研究科における保健医療福祉を横断的・総合的に学べる特色を生かして、

- ①健康科学部ではヘルスリテラシーの向上を支援できる人材の育成
- ②健康科学研究科ではヘルスリテラシーに資する研究開発と高度専門職・研究者の育成
- ③地域連携・国際センター及び研究推進・知的財産センターでは研究開発や研修を通じた地域への知識の還元

その他、これらの活動を支える図書館など、全学的に多方面にわたっての取組みを展開している。

事業の推進にあたり、大学としての事業内容・方向性を決定するヘルスリテラシー事業推進会議、実際に事業を遂行するヘルスリテラシー事業推進委員会、その下に人材育成班、地域研修班、知識還元班の3つの班を設けて取り組んでいる。事業内容の一部は、平成27年度業務実績報告書にも記載されているが、年度計画に記載のない業務も多々実施・遂行したので、全体を網羅的に記載し、「ヘルスリテラシー向上」に携わる県立大学としての使命・実績をより明確に伝えるために参考資料として提出する。

（ヘルスリテラシー事業に係る平成27年度業務実績報告書の主な項目）

中期計画No.5、10、22、25、26、27、29、30、31

平成27年度 ヘルスリテラシー関連事業の実施状況

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容
1	全体 (ヘルスリテラシー 推進会議)	健やかカスタート アップin AUHW	平成27年7月	(イベント実施によるヘルスリテラシー啓発) 「スタートアップフェスタ」の開催	「スタートアップフェスタ」開催(第4回公開講座と併催)。 (開催日) 平成27年7月4日(土) (会場) 青森県立保健大学 講堂 (実施内容) ① 本学教員による食材の機能性研究成果及び産学連携による開発商品の紹介(もち小麦、アピオス、ガマズミ) ② 青森県事業の紹介(だし活、健やかカアップ推進活動、健活メニュー試食) ③ 骨密度、血管年齢及び血圧測定の実施
2			平成27年10月	(イベント実施によるヘルスリテラシー啓発) 大学祭における「チーム健やか力」ブース開設	大学祭における「チーム健やか力」ブース開設。 (開催日) 平成27年10月10日(土)、11日(日) (会場) 青森県立保健大学 A108教室 (実施内容) ① 本学4学科による来場者を対象とした健康チェック等の実施 <看護学科>血管年齢測定 <理学療法学科>骨密度測定 <社会福祉学科>認知症チェック簡易テスト <栄養学科>食育SAT(サット)システムによる食事の栄養価測定 ② 健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート活動として採択した3つの活動の中間報告
3		アイディア公募・助成(学生・教職員)	平成27年6月 ～28年4月	ヘルスリテラシー向上サポート活動事業	「健やか力(ヘルスリテラシー)向上サポート宣言」の取組の一環として、学生、教職員から広くヘルスリテラシー向上への活動を募集し、優れた活動を支援。 (募集期間) 平成27年5月20日～平成27年6月22日 (対象者) 本学学部学生、大学院生、教職員 (助成額) 1件当たり30万円まで (採択枠) 5件程度 次の3チームを採択し、活動を支援 ① 古川チーム(地域における活動支援プログラム) ② 細川チーム(りんごの会) ③ 大里・伊藤チーム(おかず味噌汁を食して健やか力を向上させよう運動)

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容
4	全体（ヘルスリテラシー推進会議）	広報（記者発表他）	平成27年4月 ～28年2月	定例記者発表	第1回定例記者発表（平成27年4月8日）項目 健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言について 第2回定例記者発表（平成27年7月29日）項目 平成27年度健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動について ヘルスリテラシー特別公開講座について 第3回定例記者発表（平成27年9月30日）項目 青森県立保健大学大学祭2015について 健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言に基づく活動について 「すこやんのおかず味噌汁店」について 第4回定例記者発表（平成28年2月24日）項目 平成27年度健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動報告について （学生の地域参加活動を通じた家族支援型ヘルスリテラシー向上プログラム） （おかず味噌汁を食して健やか力を向上させよう運動）
5			平成27年8月	取材等への随時対応	ABA青森朝日放送「メッセージ」の収録及びTV放映。 （タイトル）「青森県立保健大学のヘルスリテラシー向上サポート宣言」 （収録日）平成27年8月5日 （収録場所）青森県立保健大学 構内 （出演者）上泉理事長、大西特任教授、小山内主査、りんごの会 （放映日）平成27年8月29日
6			平成27年 5月、11月	広報誌「活彩！保健 大学だより」への掲載	平成27年度前半号（第33号）掲載内容 「年間スケジュール」における「スタートアップフェスタ（7月）」の紹介 平成27年度後半号（第34号）掲載内容 「サークル活動」における「りんごの会」活動紹介（サポート活動に申請、採択） スタートアップフェスタ及び大学祭における血管年齢測定等活動の紹介
7			平成27年4月 ～28年3月	ホームページへの情報等掲載	本学HP内「ニュース&トピックス」掲載。 ①健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言について （平成27年4月9日） ②平成27年度「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート活動」募集について （平成27年5月20日） ③「健やか力（ヘルスリテラシー）向上サポート宣言」スタートアップフェスタを開催しました （平成27年7月13日） その他関連情報掲載。

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容
8	全体 (ヘルスリテラシー 推進会議)	健やか力向上サポート インフォメーション センター	平成27年12月 ～	ヘルスリテラシー ホームページ開設検 討	ヘルスリテラシー向上への本学の取組等について、平成28年4月のホームページ開設に向けて準備作業を実施。開設後は、情報の収集に努め随時更新し、可能な情報を積極的に発信。 (ホームページの主な内容) ヘルスリテラシーについて解説、大学の取組(ヘルスリテラシー推進事業の内容、大学内外へ向けた周知活動報告(スタートアップフェスタ、大学祭出展)、ヘルスリテラシー向上サポート活動事業等
9			平成27年12月 ～	ヘルスリテラシー リーフレット作成検 討	ヘルスリテラシー向上への本学の取組等について、平成28年4月のリーフレット作成に向けて準備作業を実施。作成後は、学生や関係者等に配付。 (リーフレットの主な内容) 学長あいさつ、ヘルスリテラシーとは?、大学のヘルスリテラシーに関する取組、ホームページ情報、ブックフェア・移動図書等の情報
10	人材 育成 成 班	学部教育課程でのヘルスリテラシー教育	(平成28年4月 ～29年3月)	学部カリキュラムへのヘルスリテラシーの導入	健康科学部専門科目、ヘルスリテラシー科目(学部科目)でのヘルスリテラシーの推進 ヘルスリテラシーの本格的な導入は、新カリキュラムにおいて検討することとしているが、平成27年度は、先行して次のとおり実施。 ① 健康科学概論において、青森県から健康状況及び対策の講義を実施 ② ヘルスケアマネジメント論において、青森市から健康状況及び対策の講義を実施
11		ヘルスリテラシーに関わる学生の自主的活動支援・事業化	平成27年6月	県民のヘルスリテラシーの向上に寄与する学部生活動の把握と支援	サークル代表者会議において、学生が地域と関わる活動の現状把握のためのアンケートを実施、また、ヘルスリテラシー向上に関わる活動助成への申請を推奨。
12		大学祭を機会としたヘルスリテラシー向上推進	平成27年 8月～10月	「保健大学らしさのある大学祭」の実施を通じたヘルスリテラシー推進	大学祭実行委員との協議により、学生主導で「スタンプラリーでのヘルスリテラシー情報提供」、「ヘルスリテラシークイズ」を実施。 活動助成事業のうち、1件(おかず味噌汁)がブースを開設、2件はポスター展示を実施。また、各学科から募った教員主導の企画ブースを出展。
13	地域 研修 班	ヘルスリテラシー向上を目的とした講座	平成27年5月 ～28年3月	ヘルスリテラシー向上を目的とした講座	① 「青森県のヘルスリテラシーの向上」を共通テーマとして、本学、青森市アスパム、むつ市の3か所で公開講座を全5回開催し、延べ1,295名が参加。なお、第4回は日本 社会福祉学会東北部会研究大会と合同で開催。公開講座内で学生サークルの発表の場を設定。 ② ヘルスリテラシー特別公開講座を十和田市と共催で8月11日の「安心・安全なまちづくり総決起大会」内で実施。 ③ より専門的な内容の少人数制講座として「すこやかゼミ」を3月8日、15日に開催。
14		青森市連携事業	平成27年4月 ～28年3月	青森市連携事業	青森市との包括的な連携協定に基づく協力事業として、「あおもり杖なし会」、「思春期への大学生によるピアサポート」、「地域食材の特産化活動を介したコミュニケーションの発展」の3事業を実施。

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容
15	地域 研修 班	共催・共同事業 (ココかれっじ、ケア付きねぶた 他)	平成27年4月 ～28年3月	ココかれっじ (NPO協働事業)	NPO法人ココネットあおもりと「ココかれっじ事業に関する協働契約」を4月に締結し、週1回、子育て支援を中心とした交流広場を開設。 本学教員が講師のミニ講座を実施し、5月27日に7名、7月22日に6名が参加。ミニ講座は3月23日にも実施。
16			平成27年 4月～11月	ケア付きねぶた (共催事業)	4月に「ケア付きねぶた推進委員会」を創設。ケア付き青森ねぶた”じょっぱり隊”との共催で8月3日当日に学生83名、教職員29名の合計112名が参加。活動報告書を11月に作成。
17			平成27年 9月～11月	健康づくりイベント への出展活動	健康に係る出展活動は、下記のイベントに参加し、骨密度測定などを実施。 9月26日 「こんにやくフォーラム2015in青森」(日本こんにやく協会主催) 10月 3日 「生涯学習フェア2015」(青森県総合社会教育センター主催) 10月26日 「鎌田實特別講演会」(丸大サクラ井薬局主催) 10月31日 「モールウォーキングイベント」(青森県主催) 11月 1日 「第2回あじがさわ元気健康フェスティバル」(鮎ヶ沢町主催) 11月13日 青森市民健康アップフォーラム(青森市主催)
18			平成27年 7月～11月	公募型地域連携事業	公募型地域連携事業について下記2件を採択。 ① 「県内市町村(青森市、十和田市)における平成27年度健康および食振興のための地域活動」 ② 青森県小児糖尿病サマーキャンプでの栄養サポート事業
19				研修事業	平成27年11月17日に「地域における健やか力向上のための取り組み」というテーマで、「第15回地域包括ケア・フォーラムin青森」を開催し、37名が参加。
20				研修科助成事業	「認知症サポーター養成講座」及び「認知症サポーターステップアップ講座」を実施。 ① 認知症サポーター養成講座 10月16日(参加者69名) ② 認知症サポーター養成講座 10月17日(参加者35名) ③ 認知症サポーターステップアップ講座 10月25日(参加者40名)

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容																				
21	知識還元班	大学院機能を活かした人材育成と研究推進	平成27年4月～32年3月	ヘルスリテラシーに係る研究	平成29年度からの新コース・カリキュラムの検討の中で、博士前期課程に「ヘルスリテラシー科目群」（健康情報論、健康行動科学特論、保健医療福祉人材育成論）を新設することを決定。 地域保健分野の授業科目（ヘルスプロモーション特論）の中で、外部受講生（保健師、管理栄養士、医師など）を試行的に受け入れ、地域のヘルスリテラシー向上を目指した研究成果の還元などに関して講義・演習を実施。（平成27年5月～7月に4回実施）。																				
22		ヘルスリテラシー推進研究	平成27年4月～32年3月	ヘルスリテラシー事業に関連した研究に対する研究費の配分	研究推進・知的財産センター指定型研究における新規事業として、5課題を公募（最長2年間）し、ヘルスリテラシー事業に関連した研究に対して研究費を配分。 平成27年度ヘルスリテラシー事業関連学内研究費採択課題 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究費分類</th> <th>課題名</th> <th>研究代表者</th> <th>配分額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘルスリテラシー促進研究</td> <td>小児及び保護者の野菜摂取に関わるヘルスリテラシー向上のための教育プログラムに関する研究</td> <td>栄養学科 岩部 万衣子 助教</td> <td>275,000</td> </tr> <tr> <td>ヘルスリテラシー促進研究</td> <td>地域で生活する独居高齢者の健やか力向上にむけた健康教育プログラムに関する研究</td> <td>看護学科 松尾 泉 講師</td> <td>377,000</td> </tr> <tr> <td>官学連携研究</td> <td>A保健所管内における保健協力員活動の活性化に関する研究</td> <td>看護学科 千葉 敦子 准教授</td> <td>910,000</td> </tr> <tr> <td>官学連携研究</td> <td>郵送法うつ病スクリーニングによる高齢者自殺予防のための地域介入 —生活機能評価（特定健診）の活用—</td> <td>社会福祉学科 大山 博史 教授</td> <td>980,000</td> </tr> </tbody> </table>	研究費分類	課題名	研究代表者	配分額	ヘルスリテラシー促進研究	小児及び保護者の野菜摂取に関わるヘルスリテラシー向上のための教育プログラムに関する研究	栄養学科 岩部 万衣子 助教	275,000	ヘルスリテラシー促進研究	地域で生活する独居高齢者の健やか力向上にむけた健康教育プログラムに関する研究	看護学科 松尾 泉 講師	377,000	官学連携研究	A保健所管内における保健協力員活動の活性化に関する研究	看護学科 千葉 敦子 准教授	910,000	官学連携研究	郵送法うつ病スクリーニングによる高齢者自殺予防のための地域介入 —生活機能評価（特定健診）の活用—	社会福祉学科 大山 博史 教授	980,000
研究費分類		課題名	研究代表者	配分額																					
ヘルスリテラシー促進研究		小児及び保護者の野菜摂取に関わるヘルスリテラシー向上のための教育プログラムに関する研究	栄養学科 岩部 万衣子 助教	275,000																					
ヘルスリテラシー促進研究	地域で生活する独居高齢者の健やか力向上にむけた健康教育プログラムに関する研究	看護学科 松尾 泉 講師	377,000																						
官学連携研究	A保健所管内における保健協力員活動の活性化に関する研究	看護学科 千葉 敦子 准教授	910,000																						
官学連携研究	郵送法うつ病スクリーニングによる高齢者自殺予防のための地域介入 —生活機能評価（特定健診）の活用—	社会福祉学科 大山 博史 教授	980,000																						
23		平成27年8月～28年3月	三戸郡南部町との健康事業に関わる包括的協定に向けた取組	三戸郡南部町との健康事業に関わる事前協議、平成28年度に実施する具体的な健康支援のプロジェクトのテーマ及び内容について検討を行い、平成28年3月29日に南部町と包括協定を締結。 (プロジェクト名) 「青森県三戸郡南部町小学生における健康支援プロジェクト(仮)」 (テーマ) 「総合的な身体活動の介入と栄養指導が成長期の身体組成・身体能力・活動量に及ぼす影響(仮)」																					
24		平成27年12月	ヘルスリテラシーをテーマとする講演及びシンポジウム	日本ヒューマンケア科学学会と青森県保健医療福祉研究発表会を合同開催し、ヘルスリテラシーの向上をテーマとした教育講演やシンポジウムを実施。 (開催日) 平成27年12月19日(土) (会場) 青森県立保健大学(A棟1階) (テーマ) 『ヘルスリテラシー向上をめざして』																					

No.	担当	項目	実施時期	事業名	実施内容
25	図書館	ヘルスリテラシー関連図書ブックフェア	平成27年 11月、12月	県内公共図書館におけるヘルスリテラシー関連図書のブックフェア（移動図書館）に関するアンケート調査	県内公共図書館に移動図書館の実施協力についてアンケートを行った結果、29図書館中13の図書館から実施したいとの回答があり、うち7図書館が28年度中に実施可能と回答。また、実施予定はなくてもヘルスリテラシー関連図書のリスト希望の図書館が2館。この結果に基づき平成28年度から実施。
26			平成28年 1月～3月	ヘルスリテラシー関連図書のブックフェアに関する図書の選書	本学附属図書館及び県内公共図書館におけるヘルスリテラシー関連図書のブックフェア開催のために関連図書（30図書程度）を選書。